

令和7年度着手

県営 しんがいからうす 新開唐臼地区 土地改良事業計画書
(地盤沈下対策事業)

愛 知 県

目

次

第1章	目 的	1
第2章	地域及び地積	1
第1節	地 域	1
第2節	地 積	1
第3章	現 況	2
第1節	気 象	2
1	一般気象	2
2	特殊気象	3
第2節	土地状況	4
1	地形、土壌及び浸食の程度	4
2	土地分類	5
3	土地利用の状況	5
4	土地所有の状況	5
第3節	水利状況	6
1	用水状況	6
2	排水状況	9
3	河川状況	9
第4節	道路概況	9
第5節	地域農業の概況	10
1	産業別就業人口	10
2	経営耕地広狭別農業経営体数	10
3	主要家畜頭数	11
4	主要作物作付状況	11
5	農業の動向	12
第6節	地域環境の概況	13
第4章	一般計画	14
第1節	事業計画の要旨	14
1	要 旨	14
2	事業別面積	14
第2節	営農計画及び土地利用計画	14
1	営農計画の概要	14
2	土地利用区分	14
3	作付方式	15
4	生産計画	16
5	労働改善計画	16
6	級地別土地利用区分	16
7	土地配分計画	16
第3節	用水計画	17

1	計画基準年	17
2	計画かんがい方式	17
3	計画用水系統	17
4	計画用水量	19
5	水源計画	20
第4節	排水計画	21
第5節	道路計画	21
第6節	農用地造成計画	21
第7節	洪水調整計画	21
第8節	干拓計画	21
第9節	農用地整備計画	21
第10節	老朽ため池改修計画	21
第5章	主要工事計画	22
第1節	用水施設	22
1	貯水池	22
2	頭首工	22
3	揚水機	22
4	用水路	22
5	その他かんがい施設	22
第2節	排水施設	23
第3節	道路及び索道	23
第4節	農用地造成	23
第5節	洪水調整施設	23
第6節	干拓施設	23
第7節	農用地整備施設	23
第8節	老朽ため池改修施設	23
第6章	附帯工事計画	24
第7章	工事の着手及び完了の予定時期	24
第8章	環境との調和への配慮	24
第9章	換地計画の概要	25
第10章	事業費の総額及び内訳	25
第11章	効 用	26
第12章	関連する事業	27
第13章	現況・計画平面図	27
1	現況計画平面図	27

第1章 目的

本地区は、愛知県津島市に位置し、都市近郊の低平地に広がる水田地帯であり、水稻を中心とした営農が展開されている。

本地区は、昭和36年頃から地盤沈下現象が目立ちはじめ、昭和52年頃までに急速に進行した。その後地下水採取規制の結果、地盤沈下現象は鈍化の傾向を見せているものの、僅かながらではあるが現在も継続しており、本地区は地下水揚水規制の第1規制区域である。

本地区の農業用用水路は、木曽川用水関連土地改良事業（S46～S58）によりパイプライン化された。しかしながら、不同沈下の進行や、周辺地域の社会的状況の変化により漏水事故が頻発している。また、石綿セメント管が多用されており、パイプラインの破損等により、農業者等の健康を害するおそれ懸念される。

このため、本事業により用水路の機能低下を防止し、農業生産の維持及び農業経営の安定化を図るとともに、本地区の防災力の向上を図るものである。

第2章 地域及び地積

第1節 地域

(第1表)

事業名	地域
地盤沈下対策事業	津島市

第2節 地積

(令和6年12月現在)

(第2表)

事業名	現況地目	田 (ha)	畑 (ha)	原野 (ha)	山林 (ha)	その他 (ha)	計 (ha)	備考
	市町村名							
地盤沈下対策事業	津島市	126.2	—	—	—	—	126.2	海部土地改良区 賦課台帳面積
合計		126.2	—	—	—	—	126.2	

第3章 現 況

第1節 気 象

1 一般気象

(第3表-1)

観測所名	愛西観測所	かんがい期	非かんがい期	計又は平均	備 考
観測期間	平成3年～令和2年	4月～9月	10月～3月		
平 均 気 温 (℃)		22.2	9.0	15.6	
降 水 量	平 均(mm)	1,169	561	1,730	
	基準年(mm)	1,044	564	1,608	機構宮木曾川用水事業(昭和26年)による。
降 水 日 数	平 均(日)	65	47	112	
	基準年(日)	67	55	122	機構宮木曾川用水事業(昭和26年)による。
根 雪 期 間		一月一日	～ 一月一日	(一 日間)	
無 霜 期 間		一月一日	～ 一月一日	(一 日間)	
最 多 風 向		NW	最大風速 (風 向)	18.0 m/s (SE)	最多風向発生時期 12 月 ～ 5 月 最大風速発生年月日 平 成 30 年 9 月 4 日

2 特殊気象

(第3表-2)

観測所名	第1位			第2位			第3位			第4位			第5位			備 考
愛西観測所																
観測期間 昭和54年 ～ 令和5年	数 量	年 月 日	発 生 確 率	数 量	年 月 日	発 生 確 率	数 量	年 月 日	発 生 確 率	数 量	年 月 日	発 生 確 率	数 量	年 月 日	発 生 確 率	
最大日雨量 (mm)	297	H12. 9. 11	1/438	233	H29. 10. 22	1/66	185	S63. 9. 20	1/15	173	H1. 9. 5	1/11	160	H28. 9. 20	1/7	
最大時間雨量 (mm)	75	S63. 9. 20	1/81	64	H25. 9. 4	1/28	60	H12. 9. 10	1/19	59	H12. 9. 11	1/18	58	H27. 8. 17	1/16	
最大4時間雨量 (mm)	167	S63. 9. 20	1/108	148	H12. 9. 11	1/48	123	H1. 9. 5	1/16	113	H27. 8. 17	1/11	111	R4. 7. 9 ～7. 10	1/10	
最大連続雨量 (mm)	439	H12. 9. 9 ～9. 12	1/82	370. 5	H29. 10. 13 ～10. 25	1/28	346	H19. 7. 10 ～7. 17	1/19	328	H2. 9. 13 ～9. 20	1/14	312	S57. 7. 24 ～8. 3	1/11	
最大連続干天日数 (日)	31	H11. 12. 6 ～H12. 1. 5	1/79	26	H7. 11. 28 ～12. 23	1/18	25	S62. 12. 10 ～S63. 1. 3	1/13	24	H1. 8. 3 ～8. 26	1/10	24	R2. 11. 21 ～12. 14	1/10	

第2節 土地状況

1 地形、土壌及び浸食の程度

(第4表-1-1)

事業名	地 目	田						畑 ・ その他								受益地標高(m)		備考
	傾斜区分	1/1,000	1/1,000	1/100	1/20	1/11.5	計	3°	3°	8° ～15°			15°	20°	計	最高	最低	
		以下	1/100	1/20	1/11.5	以上		以下	～ 8°	8° ～10°	10° ～15°	小計	～ 20°	以上				
地盤沈下対策事業	面 積 (ha)	126.2	—	—	—	—	126.2	—	—	—	—	—	—	—	0	△ 1.0	△ 2.4	
	比 率 (%)	100	—	—	—	—	100	—	—	—	—	—	—	—	100	—	—	

(第4表-1-2)

項 目 土壌統（区）名	土壌統（区）区分一覧表								面 積(ha)			備考		
	土壌断面							堆積様式	母材	事 業 名				
	色	腐植	礫層	酸 化 沈殿物	土 性					泥炭層 黒泥層 及び グライ層	地盤沈下対策 事業		計	
					表土	下層土								
					一層	二層	三層							
米津統 Yo-1	青灰色	なし	なし	糸根状、管 状有～含	粘質	粘質～ 強粘質	—	作土直下か らグライ層	水積	非固結 水成岩	126.2		126.2	田
苅谷統 Kr-1	青灰色	なし	なし	糸根状、管 状含～有	粘質	粘質～ 強粘質	—	作土直下か らグライ層	水積	非固結 水成岩				
針曽根統 Hz-1	灰色	なし	なし	膜状、糸根 状、管状有 ～含	壤質	壤質～ 粘質	—	80cmにグ ライ層無し	水積	非固結 水成岩				
計	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	126.2		126.2	

2 土地分類
該当なし

3 土地利用の状況

(令和6年12月現在)

(第4表-3)

事業名	土地 利用別	耕 地						原 野	山 林	採 草 放 牧 地	そ の 他	計	備 考
		水 田	普 通 畑	牧 草 地	果 樹 園	茶 園	樹 園 の 他						
	市町村名	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	
地盤沈下対策事業	津島市	126.2	—	—	—	—	—	—	—	—	—	126.2	海部土地改良区 賦課台帳面積
合計		126.2	—	—	—	—	—	—	—	—	—	126.2	

4 土地所有の状況

(令和6年12月現在)

(第4表-4)

事業名	所有別 区分	個人有地等	国有地	県有地	市有地	改良区有地	計	備 考
地盤沈下対策事業	面 積 (ha)	126. 2	—	—	—	—	126. 2	
	受益者数 (人)	445	—	—	—	—	445	
	筆 数 (筆)	1, 699	—	—	—	—	1, 699	
	権 利 関 係	—	—	—	—	—	—	
	備 考 (関 係 戸 数)	445	—	—	—	—	445	

第3節 水利状況

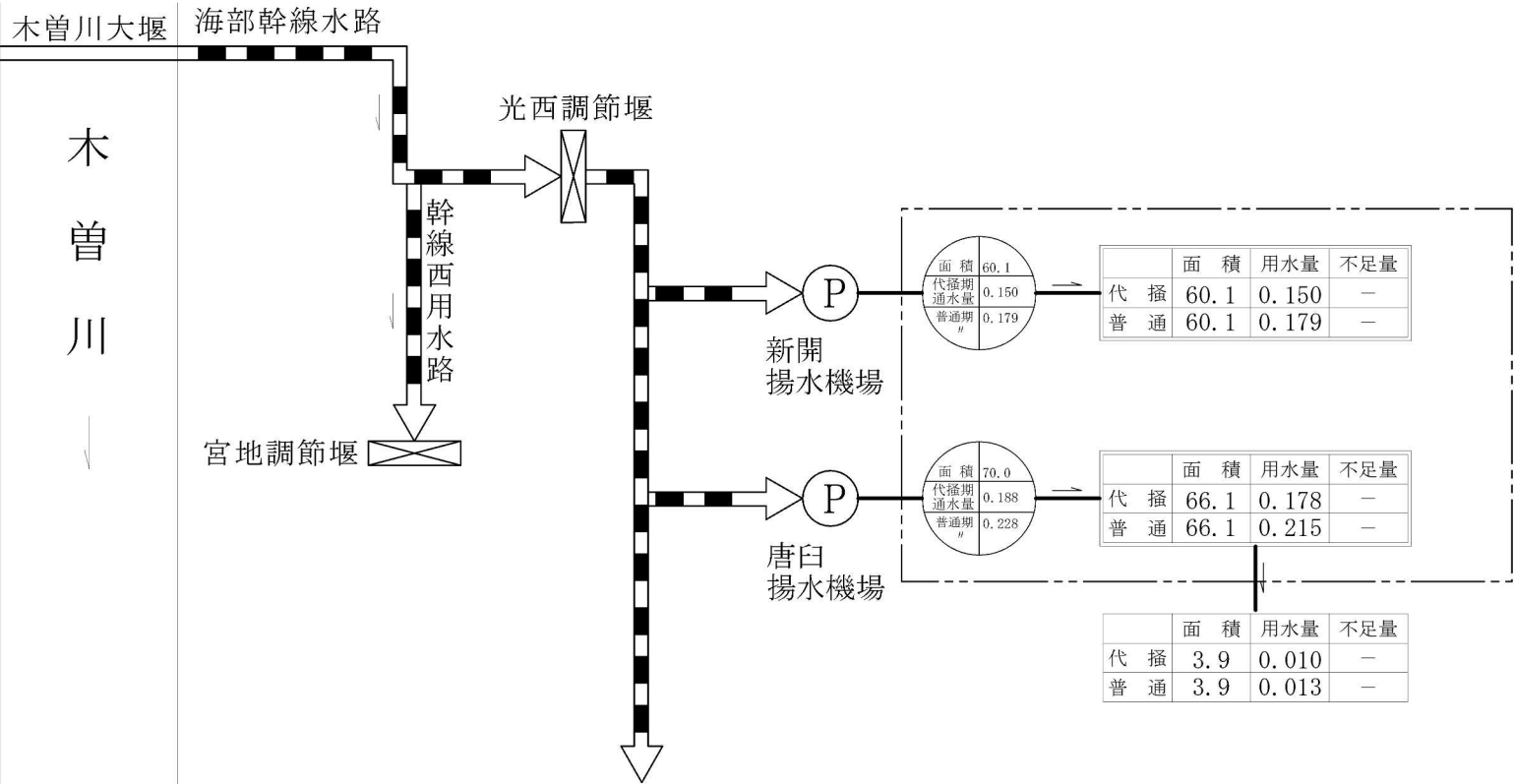
1 用水状況

用水は、木曾川用水に依存しており安定した用水供給がなされている。本地区内の用水路は、パイプラインにて整備されているものの、施工後40年以上経過しており、不同沈下の進行や、周辺地域の社会的状況の変化により漏水事故が頻発し、水管理等に苦慮している。

(1) 用水系統

(次頁 現況用水系統図参照)

現況用水系統図



凡 例	
-----	地 区 界
▭	地 区 内
→	計 画 水 路
▬	他 事 業 又 は 既 設 利 用
⊗	調 節 堰
Ⓟ	揚 水 機 場
面 積	h a
通 水 量	m³ / s

(2) 用水施設

(ア) 取水方法一覧表

(第5表-1)

事業名	項目 施設名	かんがい面積						計		許可水利権		慣行水利権		延べ取水量		備 考
		500ha以上		100～500ha		100ha未満										
		箇所	ha	箇所	ha	箇所	ha	箇所	ha	箇所	m ³ /s	箇所	m ³ /s	箇所	m ³ /s	
地盤沈下 対策事業	貯水池	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—		
	井堰	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—		
	自然取入口	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—		
	揚水機	—	—	2	126.2	—	—	2	126.2	1	0.407	—	—	0.407		
	その他	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—		
	計	—	—	2	126.2	—	—	2	126.2	1	0.407	—	—	0.407		

(イ) 改修を要する施設一覧表

(第5表-2)

事業名	項目 施設名	施設名 又は 箇所数	受益面積 (ha)	構 造	規 模	新設年又は更新年	改修を必要 とする理由	備 考
地盤沈下対策事業	貯 水 池	—	—	—	—	—	—	
	井 堰	—	—	—	—	—	—	
	自 然 取 入 口	—	—	—	—	—	—	
	揚 水 機	—	—	—	—	—	—	
	用 水 路	2	—	石綿管 塩ビ管	φ 75～500	昭和46～58年	機能低下	30.5km
	そ の 他	—	—	—	—	—	—	
	計							

(3) 用水に関する被害状況
該当なし

(4) ため池決壊の場合の想定被害状況
該当なし

2 排水状況
該当なし

3 河川状況
該当なし

第4節 道路概況

本地区の主要道路は、地区の中央を南北に市道日光唐臼線、東西に県道68号及び114号が走っており、地区内道路はこれらに接続している。地区内道路は概ね市道認定されており、アスファルト舗装がされている。

第5節 地域農業の概況

1 産業別就業人口

(第7表-1)

項目	総 数	農 業	林 業	漁 業	鉱 業	建 設 業	製 造 業	電 気 給 水 道 熱 業	運 輸 通 信 業	飲 卸 売 食 小 売 店 業	保 金 融 業	不 動 産 業	サ ー ビ ス 業	公 務	そ の 他	備 考
市町村名	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	
津島市	32,177	569	1	6	2	2,937	6,717	122	2,977	5,684	526	541	11,323	772	-	出典:令和2年度国勢調査
計	32,177	569	1	6	2	2,937	6,717	122	2,977	5,684	526	541	11,323	772	-	
比率(%)	100	2	0	0	0	9	21	0	9	18	2	2	35	2	-	

2 経営耕地広狭別農業経営体数

(第7表-2)

区分	農 業 経 営 体 数 (経営体)	経営耕地広狭別農業経営体数(経営体)										1経営体当たり平均 農用地面積(ha)					備 考
		0.3 ha 未満	0.3 ～ 0.5 ha	0.5 ～ 1.0 ha	1.0 ～ 1.5 ha	1.5 ～ 2.0 ha	2.0 ～ 3.0 ha	3.0 ～ 5.0 ha	5.0 ～ 10.0 ha	10.0 ～ 20.0 ha	20.0 ha 以上	田	畑	樹 園 地	草 地		
市町村名		ha	ha	ha	ha	ha	ha	ha	ha	ha	ha						
津島市	223	2	43	113	40	12	4	1	1	-	7	2.52	0.20	0.21	-		
計	223	2	43	113	40	12	4	1	1	-	7	2.52	0.20	0.21	-		
比率(%)	100	0.90	19.28	50.67	17.94	5.38	1.79	0.45	0.45	-	3.14	0.86	0.07	0.07	-		

(出典:2020年農林業センサス)

3 主要家畜頭数

(第7表-3)

市町村名 項 目	主要家畜								備 考
	乳用牛		肉用牛		豚		家きん		
	数量 (頭)	経営 (経営体)	数量 (頭)	経営 (経営体)	数量 (頭)	経営 (経営体)	数量 (100羽)	経営 (経営体)	
津島市	-	-	-	-	-	-	X	1	「-」は、事実のないもの。 「X」は、秘密保護上統計数値を公表しないもの。
計	-	-	-	-	-	-	X	1	
100経営体当り数量 (頭, 100羽)	-		-		-		X		
飼養経営体数の割合 (%)									

(出典:2020年農林業センサス)

4 主要作物作付状況

(第7表-4)

市町村名	津島市	計	作付割合 (%)	備 考
総耕地面積 (ha)	554	554		
作物名 区分	作付面積 (ha)			
水稻	447	447	93	作付面積は、経営耕地面積のうち販売目的作付け（栽培）した作物の類別作付（栽培）面積である。 「-」は、事実のないもの。 「X」は秘密保護上統計数値を公表しないもの。
麦類	14	14	3	
雑穀	0	0	0	
いも類	0	0	0	
豆類	1	1	0	
工芸作物	X	X	-	
野菜類	16	16	3	
果樹類	3	3	1	
花き類・花木	X	X	-	
その他の作物	X	X	-	
計	481	481	100	

(出典:2020年農林業センサス)

5 農業の動向

(第7表-5)

項目 区分	農業経営体			土地			主要作物			主要家畜			地域指定等	備 考
		B	A		B	A	作物名	B	A	家畜名	B	A		
変化の状況（C年を100とする指数）	農業経営体数	63	36	耕地	89	78	水稻	87	85	乳用牛	-	-	津島市 農振整備計画 昭和48年指定 昭和49年認可 野菜指定産地 昭和41年指定 冬春トマト	A：令和2年 (2020年) B：平成27年 (2015年) C：平成22年 (2010年) 「x」・・・ 統計数値が公表されていないために指数を求められないもの 「-」・・・ 実施のないもの
	個人経営体数	64	36	田	90	82	麦類	X	X	肉用牛	-	-		
	団体経営体（法人）数	160	100	畑	77	50	まめ類	X	5	豚	-	-		
	団体経営体（非法人）数	0	17	樹園地	57	43	野菜	X	70	家きん	X	X		
							果樹	X	60					
変化の理由	他産業への転職、高齢化に伴う離農により農業経営体数は減少傾向にある。また法人化された経営体数は変化がみられない。			農業経営体の耕地面積は宅地等への転用、都市開発により全体的に減少傾向にある。			農業経営体の減少、農地の減少に伴いほとんどの作物が減少傾向にある。			家きんの統計数値が公表されていないため、変化の把握ができない。				

(出典：2010年, 2015年, 2020年農林業センサス)

第6節 地域環境の概況

本地域は、木曽川河口の三角洲に続く海面を農地造成目的で干拓した海面干拓新田地帯であり、豊かな水の恩恵を受け稲作を中心とする美しい水郷のむらとして発展してきた。

現在も木曽川や日光川をはじめとする数多くの河川や水路が流れ、干拓時代をしのばせる水郷地帯としての自然環境・景観を残している。今後このような豊かな環境を次の世代に継承するために、生態系の保全や景観性を有した施設整備など、環境に配慮した取組みが求められている。

① 特に配慮すべき生物環境（植物、植生、動物）

本地域では天然記念物として、下新田のフジや津島神社のイチョウをはじめとしてホルトノキ、カジノキ、エノキといった樹木が多く指定されている。

希少種としてはナゴヤダルマガエルやメダカ、コウホネ、アサザ等が市内で確認されており、市周辺においても絶滅の恐れのある動植物が確認されている。

なお、生態系、人の生命・身体、農林水産業に被害を及ぼすおそれのある特定外来生物は以前から確認されているが、アライグマの目撃情報の増加、近隣地域でセアカゴケグモの移入が確認されるなど、目に見える変化が生じてきている。

② 特に配慮すべき生物以外のもの（景観・文化財他）

本地域の景観として、旧木曽川（佐屋川）河道付近に市内で最も大きな自然堤防があり、この地形に沿って形成された緑濃い集落地や堤防上の松並木は治水の歴史を今に伝える緑となっている。これらの緑が一部途切れつつも天皇川公園及びその周辺や津島神社等に見られるまとまった緑と一体となり、緑の繋がりを形成している。

また、文化財としては津島神社等の社寺にかかわる文化財が多くみられ、種類として無形民俗文化財や工芸、彫刻、建造物、絵画等が多くある。

第4章 一般計画

第1節 事業計画の要旨

1 要旨

本地区は、愛知県津島市に位置し、都市近郊の低平地に広がる水田地帯であり、水稻を中心とした営農が展開されている。

本地域は、昭和36年頃から地盤沈下現象が目立ちはじめ、昭和52年頃までに急速に進行した。その後地下水採取規制の結果、地盤沈下現象は鈍化の傾向を見せているものの、僅かながらではあるが現在も継続しており、本地区は地下水揚水規制の第1規制区域である。

本地区の農業用用水路は、木曾川用水関連土地改良事業（S46～S58）によりパイプライン化された。しかしながら、不同沈下の進行や、周辺地域の社会的状況の変化により漏水事故が頻発している。また、石綿セメント管が多用されており、パイプラインの破損等により、農業者等の健康を害するおそれが懸念される。

このため、本事業により用水路の機能低下を防止し、農業生産の維持及び農業経営の安定化を図るとともに、本地域の防災力の向上を図るものである。

2 事業別面積

(第8表)

事業名 土地利用区分 事業目的	地盤沈下対策事業						—						計 (ha)	備 考
	水田	普通畑	牧草地	果樹園	その他	小計	水田	普通畑	牧草地	果樹園	その他	小計		
	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)		
地盤沈下対策	126.2	—	—	—	—	126.2	—	—	—	—	—	—	126.2	

第2節 営農計画及び土地利用計画

1 営農計画の概要

地盤沈下に起因する用水路の機能低下を防止し、農業生産の維持及び農業経営の安定化を図るとともに、本地域の防災力の向上を図る。

2 土地利用区分

(第9表-1)

事業名	土地利用区分	水 田	普通畑	牧草地	果樹園	茶 園	その他	小 計	原 野	山 林	その他	計	備 考
	区分	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	
地盤沈下対策事業	現況	126.2	—	—	—	—	—	126.2	—	—	—	126.2	
	計画	126.2	—	—	—	—	—	126.2	—	—	—	126.2	

3 作付方式

(第9表-2)

事業名	項目	経営 類型	土地 利用 区分	1年目												2年目												3年目												備 考																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
				1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
地盤沈下対策事業	現況・計画	水稻	水田			○	△											○	△																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				

4 生産計画

(第9表-3)

事業名	項目 土地 利用区分		作物名	作付面積 (ha)			作付率 (%)		単位面積当たり 収量 (kg/10a)			生産量 (t)			同左生産量 増減の内訳 (t)		備 考
				現況	計画	増減	現況	計画	現況	計画	増減	現況	計画	増減	面積 増減	単位面積当り 収量増加	
地盤沈下対策事業	水田	表作	水稻	124.9	124.9	—	100.0	100.0	500	500	—	624.5	624.5	—	—	—	
		裏作	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	普通畑	春夏作	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
		秋冬作	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	計			[124.9] 124.9	[124.9] 124.9	[0.0] 0.0											

* 作付面積欄の計で[]内は実面積、外は延作付面積

(田→田) 99% → 99%

* 作付面積は本地面積

5 労働改善計画
該当なし

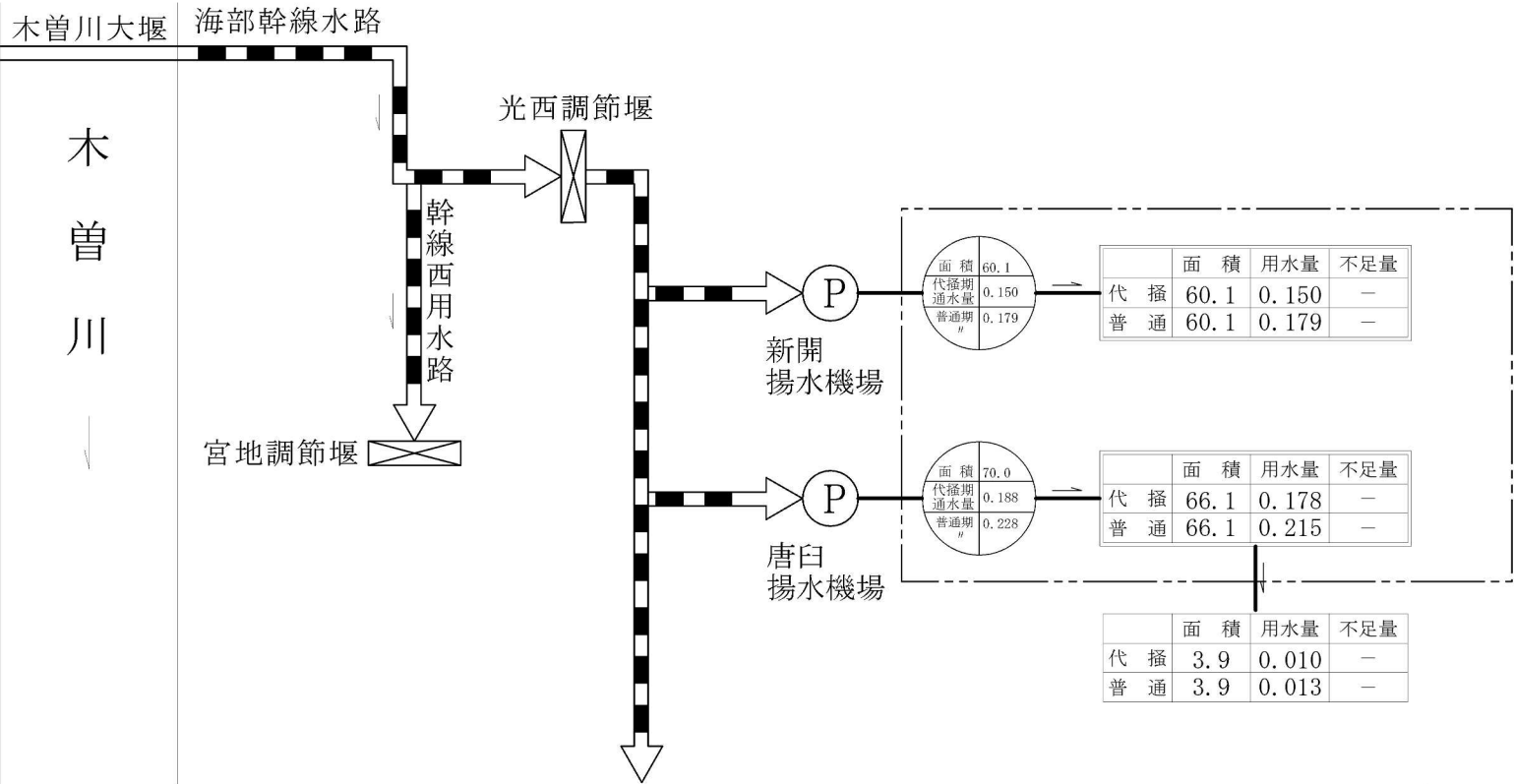
6 級地別土地利用区分
該当なし

7 土地配分計画
該当なし

第3節 用水計画

- 1 計画基準年
昭和26年 機構宮木曾川用水事業濃尾第二地区による。
- 2 計画かんがい方式
かんがい方式
水田 パイプラインによる湛水かんがい方式
かんがい期間
水田（早植） 5月16日～9月10日 118日間（代掻期 5月16日～5月25日 10日間）
水田（普通1） 6月 1日～9月20日 112日間（代掻期 6月 1日～6月10日 10日間）
水田（普通2） 6月11日～9月30日 112日間（代掻期 6月11日～6月20日 10日間）
- 3 計画用水系統
（次頁 計画用水系統図 参照）

計 画 用 水 系 統 図



凡 例	
	地 区 界
	地 区 内
	計 画 水 路
	他 事 業 又 は 既 設 利 用
	調 節 堰
	揚 水 機 場
面 積	h a
通 水 量	m ³ /s

4 計画用水量

(1) かんがい用水

(第10表-1-1)

系統名	項目 種別	面積(ha)		水田かんがい			水田畑利用			畑地かんがい			その他		消費 水量	損 失 率	粗用水量		備考															
		事業名		普通期 計 画 平 均 単 位 用水量	代掻期 計 画 単 位 用水量	面 積	1 日当 り計画 平均か ん水深	平均 間断 日数	面 積	1 日当 り計画 平均か ん水深	平均 間断 日数	面 積	計 画 平 均 単 位 用水量	面 積			平 均	最 大																
		地盤沈下 対策事業	計																															
																				(mm/日)	(mm/日)	(ha)	(mm/日)	(日)	(ha)	(mm/日)	(日)	(ha)	(mm/日)	(ha)	(m ³ /s)	(%)	(m ³ /s)	(m ³ /s)
木曽川 用水	農業用水	60.1	60.1	19.6	100.0	60.1	—	—	—	—	—	—	—	—	0.161	10	0.150	0.179	新開工区															
〃		66.1	66.1	21.4	100.0	66.1	—	—	—	—	—	—	—	—	0.205	10	0.188	0.228	唐臼工区															
小計		126.2	126.2	—	—	126.2	—	—	—	—	—	—	—	—	0.366	—	0.338	0.407																

(2) 営農飲雑用水
該当なし

5 水源計画
(1) 水利用計画

(第10表-2)

項目 区分	消費水量	有効雨量	純用水量	粗用水量	現況利用可能水量			不足水量		水源依存量		水源 工種	備考
					水源名	取水地点 利用可能量	ほ場利用 可能量	純不足水量	全不足水量	水源名	水量		
	a (千 m^3)	b (千 m^3)	c (千 m^3)	d (千 m^3)		e (千 m^3)	f (千 m^3)	g=c-f (千 m^3)	h=d-e (千 m^3)		(千 m^3)		
地盤沈下対策事業	1,311.9	617.7	838.8	931.7	木曽川 用水	1,457.7	1,380.9	-	-	木曽川 用水	931.7	既設利用	損失率： $\alpha = 0.1$

- (2) 用水対策
(ア) 貯水池
該当なし

(イ) 井堰及び自然取入口
該当なし

(ウ) 揚水機
該当なし

(エ) 用水路

(第10表-6)

項目 名称		かんがい面積(ha)		最大通水量 (m ³ /s)	延 長 (km)	構 造	備 考
		事 業 名					
		地盤沈下対策事業	計				
新開唐臼地区かんがい施設		126.2	126.2	0.228	30.5	塩ビ管 φ75～500mm	

- (オ) その他の水源施設
該当なし

(3) 水温水質
該当なし

第4節 排水計画

該当なし

第5節 道路計画

該当なし

第6節 農用地造成計画

該当なし

第7節 洪水調整計画

該当なし

第8節 干拓計画

該当なし

第9節 農用地整備計画

該当なし

第10節 老朽ため池改修計画

該当なし

第5章 主要工事計画

第1節 用水施設

- 1 貯水池
該当なし
- 2 頭首工
該当なし
- 3 揚水機
該当なし
- 4 用水路

(第17表-4)

区分 \ 項目	かんがい面積 (ha)		通水量 (m ³ /s)	延長 (km)			構造	こう配 (%)	主要構造物	備考
	事業名			開きよ	トンネル その他	計				
	地盤沈下 対策事業	計								
新開唐臼地区かんがい施設	126.2	126.2	0.003～0.407	—	30.5	30.5	塩ビ管	—	制水弁等	

- 5 その他かんがい施設
該当なし

第2節 排水施設

該当なし

第3節 道路及び索道

該当なし

第4節 農用地造成

該当なし

第5節 洪水調整施設

該当なし

第6節 干拓施設

該当なし

第7節 農用地整備施設

該当なし

第8節 老朽ため池改修施設

該当なし

第6章 附帯工事計画

用地買収及び補償費

- (1) 用地買収
該当なし
- (2) 補償費
電柱移転・・・・・・ 18本（コンクリート柱・共架柱）
水道施設・・・・・・ 5,035m

第7章 工事の着手及び完了の予定時期

- 1 工期 着手 令和7年度
完了予定 令和21年度 （予定）

- 2 工事の年度割予定

年度 工種	令和7 年度	令和8 年度	令和9 年度	令和10 年度	令和11 年度	令和12 年度	令和13 年度	令和14 年度	令和15 年度	令和16 年度	令和17 年度	令和18 年度	令和19 年度	令和20 年度	令和21 年度	
農業用排水（用 水）																

第8章 環境との調和への配慮

- 1 配慮の対象
本地区は、津島市の田園環境整備マスタープランにおいて環境配慮区域になっており、農業の有する多面的機能（自然環境、水源のかん養、良好な景観の形成等）を発揮することができるように、農地の保全等により、昆虫・水生小生物及び鳥類等が生息できるような環境の保全に配慮していくものとする。
- 2 配慮の方法
改修にあたり地区周辺の生活環境及び生態系への影響緩和として、工事期間中の濁水・土砂流出を防止し影響を軽減する。

第9章 換地計画の概要

該当なし

第10章 事業費の総額及び内訳

(第26表)

区分 \ 事業名		地盤沈下対策事業 (千円)	備 考
事業費		4,060,000	
事務的経費		250,000	
計		4,310,000	
関連事業 (参考)	地盤沈下対策事業木曽川用水2期地区	17,778,000	

令和6年度単価。消費税については10%で算定。(ただし、物価変動により将来変動することがある。)

※1) 事業費とは土地改良事業に要する費用のうち、事務的経費を差し引いた費用。

※2) 事務的経費とは、昭和48年7月23日付け48構改D第609号(設)農林水産省構造改善局長通知により定められた事務費および工事雑費。

第11章 効 用

(第27表)

事業名	区 分	項 目	年総効果（便益）額 （千円）	年総増加農業所得額（千円）		備 考
					うち機能向上分	
地盤沈下 対策事業		作 物 生 産 効 果	113,721	—	—	
		品 質 向 上 効 果	6,555	—	—	
		営 農 経 費 節 減 効 果	△ 1,708	—	—	
		維 持 管 理 費 節 減 効 果	△ 3,248	1,038	1,038	
		災害防止効果（農業関係資産）	103,432	—	—	
		災害防止効果（公共資産）	160,798	—	—	
		国産農産物安定供給効果	23,741	—	—	
		計	403,291	1,038	1,038	令和6年度単価

(参考)	①当該事業費	2,849,010 千円
	②その他費用	4,452,214 千円
	③総費用（①＋②）	7,301,224 千円
	④年償還額	2,978 千円/年
	④' うち機能向上分	8 千円/年
	⑤年総効果（便益）額	403,291 千円/年
	⑥現況年総農業所得額	37,095 千円/年
	⑦年総増加農業所得額	1,038 千円/年
	評価期間（工事期間＋40年）	55 年
	割引率	0.04
	⑧総便益額（現在価値化）	8,908,981 千円
	⑨総費用総便益比（⑧÷③）	1.22 ≥ 1.0
	⑩総所得償還率（④÷⑥）	0.081 ≤ 0.2
	⑪増加所得償還率（④' ÷ ⑦）	0.008 ≤ 0.4

第12章 関連する事業

(第28表)

区分	事業名	事業主体	受益面積 (ha)	事業内容
県営	地盤沈下対策事業木曽川用水 2 期地区	愛知県	1, 097	既設水路改築 支線水路13km 揚水機場12箇所

第13章 現況・計画平面図

- 1 現況計画平面図
別紙『現況計画平面図』参照